

内田地区診断書



令和6年1月

内田地区地域づくりセンター

目 次

はじめに	1
1 地区の概要	2
(1) 沿革	2
(2) 特色	2
(3) 現状と課題（総論）	2
(4) 地区データ一覧	6
2 人口統計	7
(1) 人口・世帯数	7
(2) 町会別人口・世帯数	7
(3) 人口ピラミッド	8
(4) 年齢別人口構成	8
(5) 年間出生数・出生率	9
(6) 高齢化率	9
(7) 人口と高齢化率の推移	10
3 支援の必要な人	11
(1) 介護認定を受けている人	11
(2) 要援護者登録をしている人	12
(3) 障害者手帳を持っている人	12
(4) 生活保護を受けている人	12
(5) 外国籍の人	12
4 内田地区の健康	13
KDB（国保データベース）の結果	13
5 地区の主な行事	16
6 主な施設等	16
7 各種団体	18
(1) 町会、行政関係団体	18
(2) 公民館、福祉ひろば関係団体	21
(3) その他の団体	22
8 通いの場	24
(1) 福祉ひろば	24
(2) 地区公民館	24
(3) 町会サロン	28

はじめに

第3次松本市地域づくり実行計画では、地区の現況データなどを住民の皆さんに提示して、課題の把握、共有化に向けた取り組みを支援することとしています。

この「地区診断書」は、同計画に基づき、地域づくりセンターが中心となって、地区の様々なデータを整理してまとめたもので、行政として施策の立案に生かすとともに、住民の皆さんと共有することを目的としています。

住民の皆さんには、普段の生活の中で捉えている地区の姿に、「地区診断書」に記載された客観的なデータを合わせて考えていただくことにより、より明確に地区の姿を把握し、地域課題の解決策の検討につなげていただければ幸いです。

内田地区地域づくりセンター



1 地区の概要

(1) 沿革

- M. 7. 10. 23 筑摩県北内田村・南内田村・北熊井村・南熊井村・中^{なかばさみ}挟村の5カ村が合併して片丘村が発足
- M. 12. 1. 郡制の施行により東筑摩郡片丘村北内田へ
- S. 34. 4. 1 東筑摩郡塩尻町、片丘村、広丘村、宗賀村、筑摩地村と1町4カ村が合併して塩尻市となる（面積 141 km²）
- S. 35. 4. 1 塩尻市片丘北内田（面積 8. 35 km²、人口 1, 576 人、世帯数 312）が塩尻市から分市して、松本市に編入
- S. 36. 4. 1 塩尻市南内田崖の湯（面積 0. 03 km²、人口 30 人、世帯数 6）が塩尻市南内田から分離して、松本市内田に編入

(2) 特色

ア 地勢

市内南東部に位置する松本市内田地区は、かつての片丘村北内田であり、前鉢伏山（1, 836. 1m）と高ボッチ山（1, 664. 9m）を結ぶ尾根筋の中ほどにある横峰（1, 670m）の西山麓斜面の標高 660mから 800m間の緩傾斜地に発達した集落です。西方は松本平を眼下に北アルプスの連山を遠望し、南西に木曾路の入り口を望み、南方は塩尻市と、東方は岡谷市と境を接しています。

北から牛伏川、舟沢川、塩沢川、蔵沢堰の4つの川が洪積台地を切って流れ、これらの川がつくる扇状地の扇央に近い場所に位置しています。分水嶺をなす横峰の南東側の雨水は岡谷市側へ流れ、西側斜面の雨水はいくつもの沢から牛伏川本流に合流しますが、北端の境沢川も合流しており、これが中山地区との境になっています。

イ 歴史

中世鎌倉時代には、北^{きたうち}内・南^{みなみうち}内を合わせて「内田牧」と呼ばれ、佐馬寮^{さめりょう}への貢馬^{くめ}（献上馬）を送り出していました。室町時代には「内田郷」となり、室町時代末頃には南・中・北の3つに分かれ、近世初頭の江戸時代前期（西暦 1600 年～）頃には再び「郷」となり、「牧」ではなくなっています。

地区内の産業、施設等は、明治 7（1874）年頃開発されたといわれる「崖の湯温泉」を有し、昭和 45（1970）年には「牛伏寺ダム」が完成。同年 11 月に片丘線が全面舗装されると東山部開発の一つとして、翌 46（1971）年に「松本カントリークラブ」がオープンしています。また、当初 6 つの町会で発足した内田地区は、平成 3（1991）年に第 7 町会、平成 7（1995）年には、第 8・第 9 町会が加わり、現在 9 つの町会で町会連合会を構成しています。

(3) 現状と課題（総論）

ア 町会、町会組織に関する課題

地区内町会役員の任期が 2 年ごとであり、平成 29 年度からは町会長も一斉改選となりました。役員改選時には事業の継続性や業務の引継ぎ等が心配されましたが

今のところ大きな問題は出てきていません。今後も町会活動の継続発展のためには役員OBのノウハウ活用や人材確保などが必要になっています。

イ 環境保全に関する課題

中山間地域にて、山林や河川への不法投棄や廃棄物業者の進出等が問題視されています。平成30年には地区の財産管理委員会が所有する土地に大量の廃棄物が不法投棄された事案がありました。その後も不法投棄に対する有効な対応策が見出されていません。また、近年他地区で深刻化する松くい虫被害も地区内で散見されはじめ、その対応も必要となっています。

ウ 地区福祉推進に関する課題

地区の福祉関係団体は、地区社会福祉協議会をはじめ福祉ひろば事業推進協議会など地区組織の役員の長が兼務する形で組織されています。日赤奉仕団の内田支部は、団員の高齢化のため平成30年度から活動休止に至っています。

地域包括ケアシステムに掲げられた5つの要素（医療・介護・住まい・介護予防・生活支援）のうち、介護予防と生活支援に関する地域福祉の仕組みづくりのために令和3年度から配置された生活支援員は、地区社会福祉協議会や福祉ひろば事業推進協議会と連携を密接にして活動しています。今後更に地域の実情を明確にしたうえで活動していく必要があります。

エ 文化財の保存伝承に関する課題

地区には国重要文化財の「牛伏川本流水路(牛伏川階段工)」や、市重要無形民俗文化財の「内田のササラ踊り」など、貴重な文化財が残されていますが、近年の社会環境の変化や少子高齢化に伴う人口減少などの影響を受け、文化財の継承が困難になりつつあります。今後、関係団体と連携して文化財の保全活用や伝承を推進し文化財を地域全体で活用しながら後世に伝えていくことが必要となっています。

オ 今後、深刻化が予想される8つの課題

(ア) 見守り安心のネットワークづくり

民生・児童委員による訪問活動に加え、平成30年度から町会長会による「こんにちはふれあい健康訪問」が始まりましたが、現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により訪問自体ができない状況です。

(イ) 地域包括ケアシステムの検討

新たに地区生活支援員が配置され、地域ケアの担い手が増えました。地域ケア会議は平成27年度から毎年2回以上開催されてきましたが、令和3年度はコロナ禍により未開催、令和4年度は規模を縮小して参加人数を限定して災害時の要援護者の支援についての研修会を1回開催しました。

(ウ) 地域の防災体制の整備

指定避難所は内田体育館、また、要援護者優先の指定避難所は内田公民館で、平成30年度に指定避難所ごと避難所運営委員会を立ち上げ、毎年10月に実施

される地区の防災訓練に合わせて避難所開設・運営訓練を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和3年度は上記2つの避難所運営委員会は組織されず、令和2年度と3年度の避難所開設・運営訓練は未実施となりました。令和4年度は規模を縮小して内田体育館避難所運営委員会の各班長と全町会長だけを対象とした訓練を内田体育館で実施しました。

また、各町会には自主防災会が組織され、町会長を防災会長としていくつかの班に分かれ、いざという時の防災体制づくりも行われています。

内田体育館避難所は、小・中学校体育館等を使用した避難所と異なり市が設置した防災倉庫がありません。このため有事の際には松本市防災物資ターミナルからピストン輸送で物資を運搬してくるようになっていますが、有事の際に迅速な運搬ができるのか懸念を持つ住民もいます。なお、内田公民館北側に隣接する地区の防災倉庫には地区町会連合会の予算で購入した救急用の担架やダンボールベッド備蓄食料等を保管してあり非常時に備えています。

(エ) 地域の交通対策

地区内では、買い物ができずに困っているという切実な声はありません。内田地区社会福祉協議会が令和4年度に後期高齢者を対象として実施したアンケート調査の中で外出時（買い物・通院など）の交通手段（複数回答可とした）を聞いたところ、一番多い回答は、全回答者212人のうち59.0%にあたる125人が「自分で運転する自動車以外出」、次に多かったのが、「同居家族の運転による自動車」（68人・32.1%）、3番目は「公共交通（路線バス・電車）を利用している」で15人（7.1%）でした。「日常の生活の中で手助けしてほしいこと」についての問いに対して「買物の付添い・送迎」及び「通院の付添い・送迎」など移動に関する要望は、回答者164人中18人（11.0%）で、地区内の公共交通機関が極めて脆弱な割には、困っている後期高齢者が多くない結果となり、現在のところは何とかなっていると考えている人が多いと推測されます。しかし公共交通機関は路線バスが一日に2回往復する程度しかなく、将来的には不安を感じるという意見はよく耳にします。現在、福祉ひろばの利用者についてはボランティアによる送り迎えが行なわれていますが、なかなか通院や買い物までには広がらない状況です。

(オ) 空き家対策

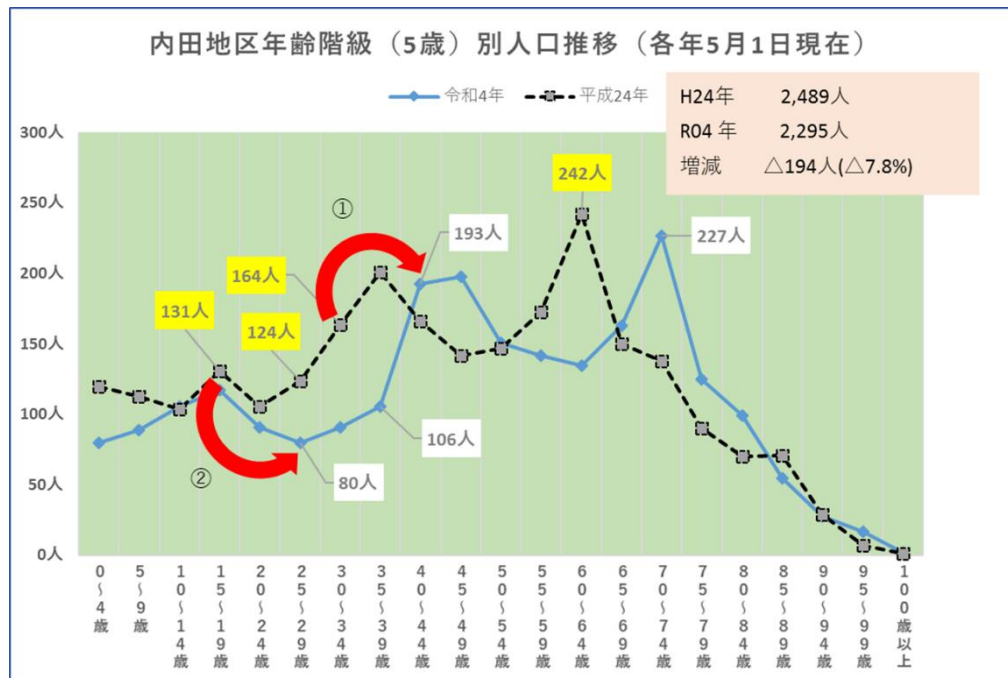
地区内でも高齢者が施設に入所されたりして空き家となっている家屋が散見されます。今後は、さらに増加することが見込まれ、防災、防犯上の問題が顕在化してくることが予想されます。

(カ) 地域文化の伝承

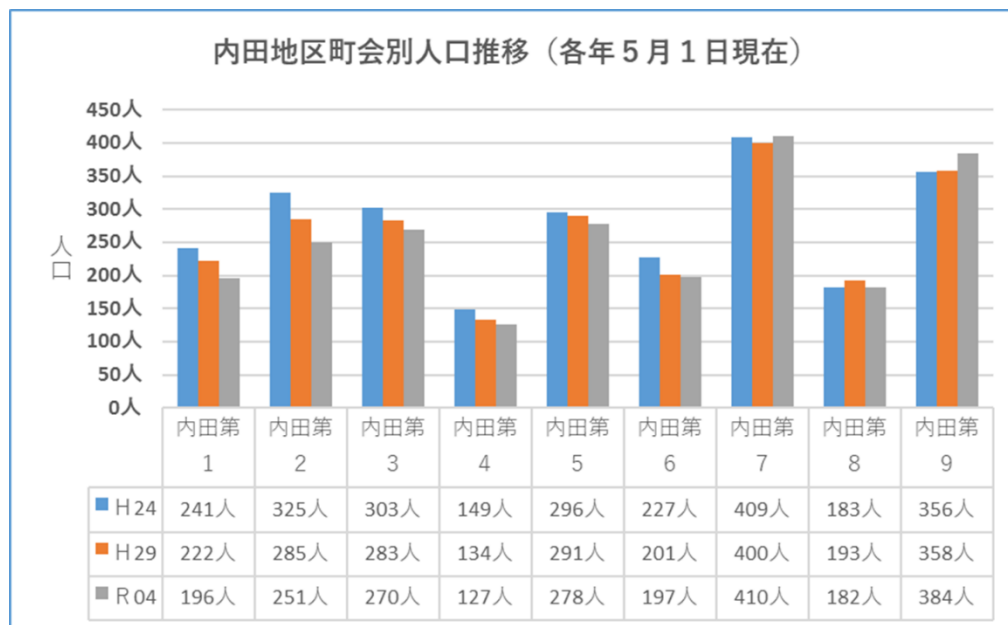
松本市の重要無形文化財に指定されるササラ踊りは、保存会が組織されササラまつりや地区の運動会等で披露されています。次世代への伝承は育成会や小中学校のコミュニティスクール等で取り組まれているところですが、今後、少子化の影響により伝承が難しい状況が生まれる可能性があります。

(キ) 人口減少

人口減少は、上記の様々な課題の根本的な部分に関わってくるものだと考えられます。人口減少の要因は、少子高齢化と若者の流出があり、いずれも若年層の減少が要因です。平成24年から令和4までの10年間の内田地区の人口の変化をみると、マイナス194人（マイナス7.8%）の減少（同期間の松本市全体の変化はマイナス2.9%）です。



上図は内田地区の平成24年と令和4年の5歳階級別人口グラフです。②の矢印部分を例にとると、平成5年から9年に生まれた住民は10年間に51人減り（約38.9%減）131人から80人になりました。主たる要因は転出と考えられます。



上図は町会ごとの人口の動きです。農村地域である第1町会から第6町会までで減少傾向が顕著です。今後の農業の継続に影響が出る可能性があります。

(4) 地区データ一覧

令和4年4月1日現在

項目		数値	構成比等 (特記がなければ地区全体の 数値に対する割合)		
人口統計	世帯数	985世帯			
	人口	2,304人			
	人口増減 ^{*1}	-32人	-1.4%	R3.1.1の人口に対する増減率	
	自然増減	出生	20人		
		死亡	30人		
	社会増減	転入	31人		
		転出	45人		
		その他(市内転居、職権処理等)	-8人		
	男女別	男	1,152人	50.0%	
		女	1,152人	50.0%	
	年齢別 (三分区)	14歳以下	278人	12.1%	
		15～64歳	1,310人	56.9%	
		65歳以上	716人	31.1%	
	子供	出生率 ^{*2}	8.6‰		
		年代別 人数	0～3歳(未就園児相当)	58人	2.5%
4～6歳(保育園・幼稚園児相当)			55人	2.4%	
7～12歳(小学生相当)			120人	5.2%	
13～15歳(中学生相当)			60人	2.6%	
16～18歳(高校生相当)			83人	3.6%	
高齢者	65歳以上	716人	31.1%	(高齢化率)	
	内 65～74歳	391人	17.0%		
	内 75歳以上	325人	14.1%	(後期高齢化率)	
	一人暮らし高齢者 ^{*3}	73人	10.2%	65歳以上に対する割合	
介護認定	要支援者数	43人	6.0%	65歳以上に対する割合	
	要介護者数	内 要介護1	13人	1.8%	65歳以上に対する割合
		要介護2	16人	2.2%	65歳以上に対する割合
		要介護3	13人	1.8%	65歳以上に対する割合
		要介護4	11人	1.5%	65歳以上に対する割合
		要介護5	3人	0.4%	65歳以上に対する割合
避難行動要支援者名簿に掲載されている人 ^{*4}		108人	4.7%		
障害者手帳を持っている人 ^{*5}		228人	9.9%		
生活保護を受けている人	内 身体障害者手帳	148人	6.4%		
	療育手帳	55人	2.4%		
	精神障害者保健福祉手帳	25人	1.1%		
生活保護を受けている人	世帯数	8世帯	0.8%		
	人数	15人	0.7%		
外国籍の人	世帯数	6世帯	0.6%		
	人数	23人	1.0%		

*1,*2 人口増減及び出生率は、令和3年1月1日～令和3年12月31日

*3 一人暮らし高齢者数 基準日:令和3年12月1日現在

*4 避難行動要支援者名簿 基準日:令和4年4月1日現在

*5 障害者手帳を持っている人 基準日:令和4年4月1日現在

2 人口統計

(1) 人口・世帯数

ア 現況

令和4年4月1日現在

	世帯数	人口
内田地区	985世帯	2,304人
市における割合	0.9%	1.0%
松本市	107,518世帯	236,345人

イ 増減状況

「自然増減」「社会増減」とともに減少要因が増加要因を上回っています。

令和3年

	年間増減	自然増減		社会増減			R3.1.1 現在の 人口	
		出生	死亡	転入	転出	その他 (※1)		
内田地区	人数	-32人	20人	30人	31人	45人	-8人	2,335人
	増減率(※2)	-1.4%	0.9%	1.3%	1.3%	1.9%	-0.3%	
松本市	人数	-1,002人	1,588人	2,692人	9,175人	9,004人	-69人	237,970人
	増減率(※2)	-0.4%	0.7%	1.1%	3.9%	3.8%	0.0%	

※1 職権処理等（ただし地区の数値には市内転居を含む）

※2 令和3年1月1日の人口に対する割合

(2) 町会別人口・世帯数

平成31年4月1日と比較すると、第7町会と第9町会で人口が増加していますが、その他の町会では人口は減少しています。

令和4年4月1日現在

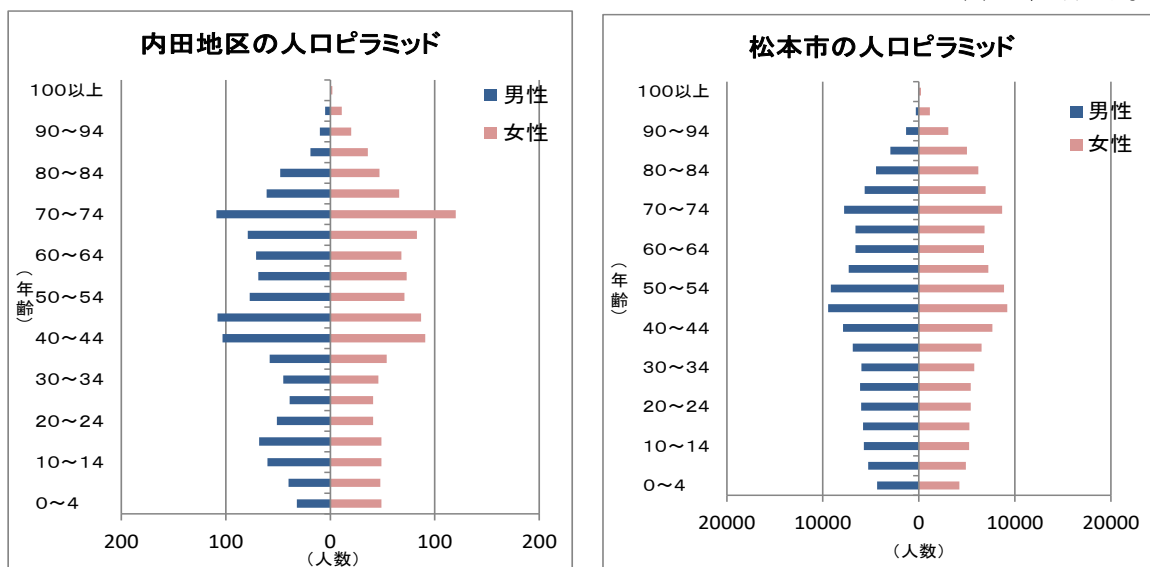
町会名	人口 (人)	世帯数 (戸)	町会加入数 (注1)	回覧数
内田第1	196	76	57	7
内田第2	251	104	82	8
内田第3	270	137	62	9
内田第4	127	50	43	5
内田第5	279	109	81	6
内田第6	200	80	58	9
内田第7	412	171	126	14
内田第8	182	84	55	5
内田第9	387	174	90	13

(注1) 町会加入数は、各町会から市へ報告のあった数字で、企業会員等も含まず。

(3) 人口ピラミッド

いわゆる「団塊の世代」と「団塊ジュニア」の世代が、松本市の状況と比較し顕著に突出しています

令和4年4月1日現在



(4) 年齢別人口構成（三区分）

松本市に比べ、生産年齢人口の割合は少し低く、高齢人口は高めです。

令和4年4月1日現在

区分		全人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢人口 (65歳以上)	うち75歳以上
内田地区	人数	2,304人	278人	1,310人	716人	325人
	割合	100.0%	12.1%	56.9%	31.1%	14.1%
松本市	人数	236,345人	29,732人	139,380人	67,233人	37,317人
	割合	100.0%	12.6%	59.0%	28.4%	15.8%

(5) 年間出生数・出生率

令和3年は松本市全体より高く、35地区中、最上位から4番目です。

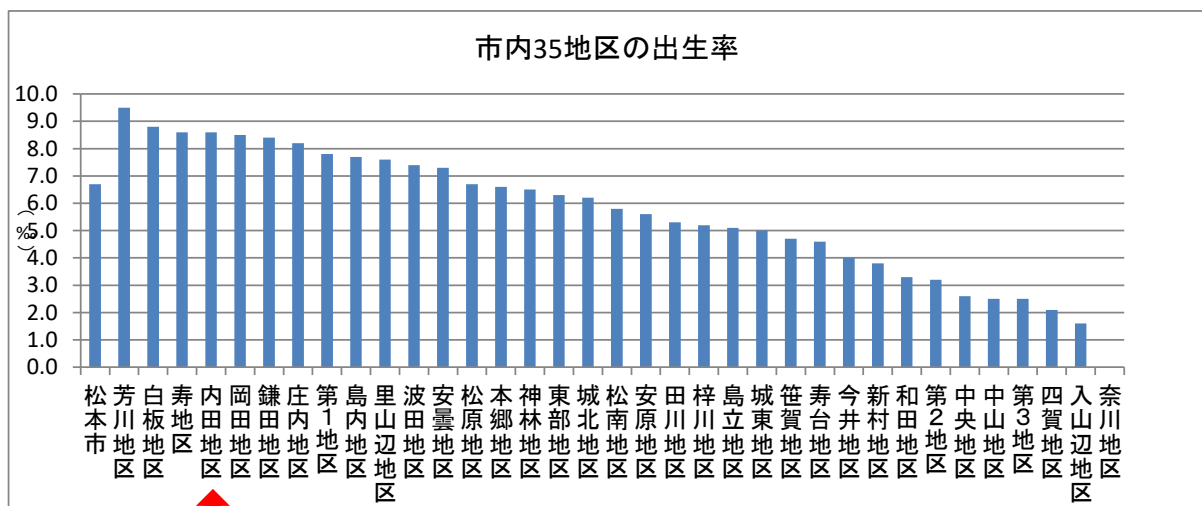
※令和2年は3.4パーセントで最上位から30番目でした。

令和3年

	出生数	出生率(※1)	年央人口(※2)
内田地区	20人	8.6‰	2,315人
松本市	1,588人	6.7‰	237,495人

※1 年間出生数の年央人口に対する千分率

※2 7月1日時点の人口



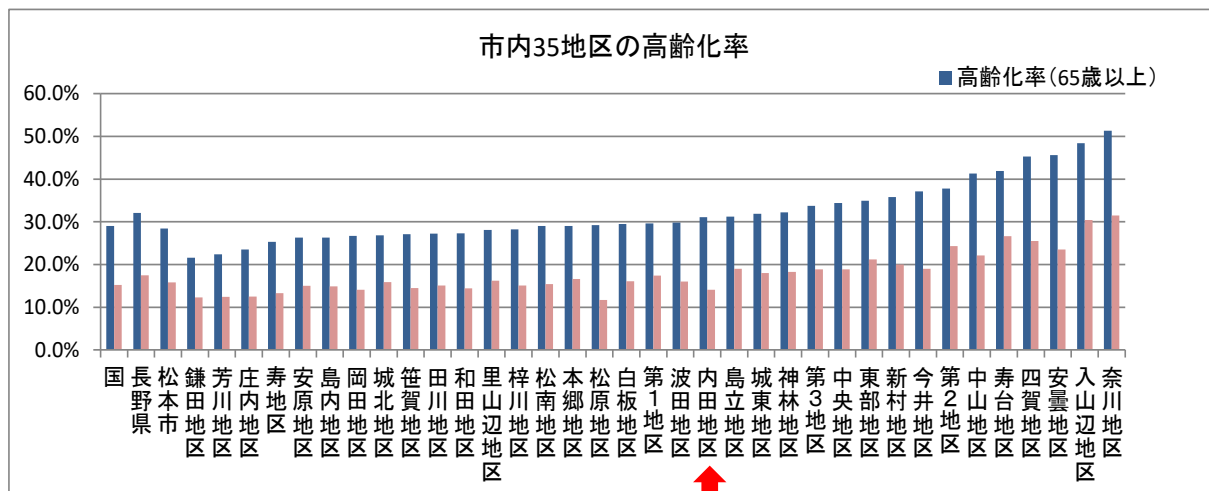
(6) 高齢化率

市内35地区中では、やや高い方で20番目となっています。

※令和3年は16番目でした。

令和4年4月1日現在

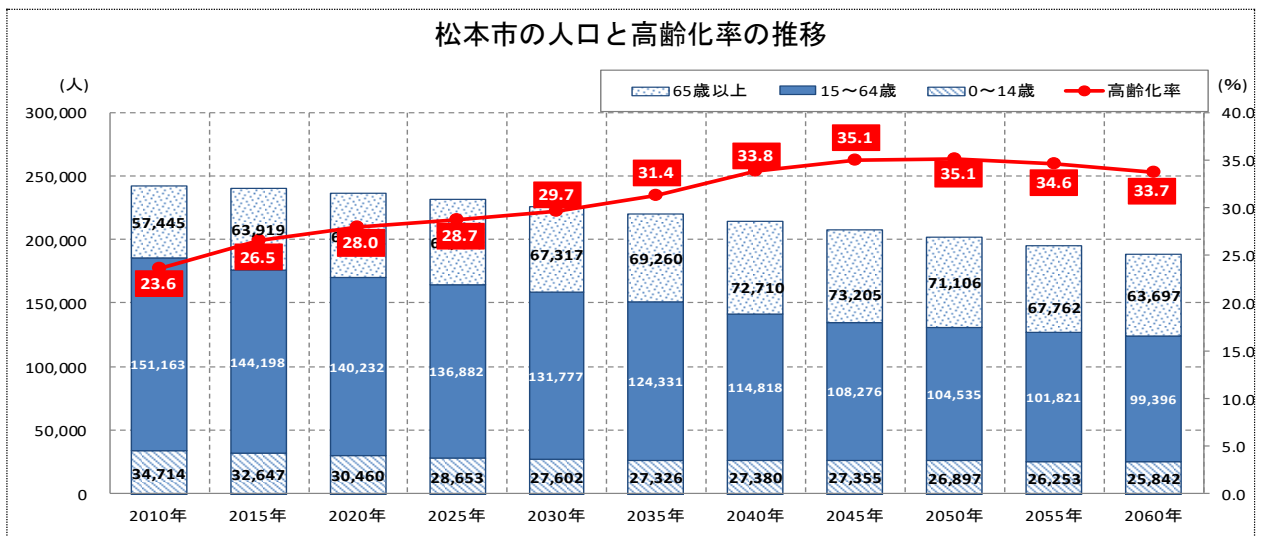
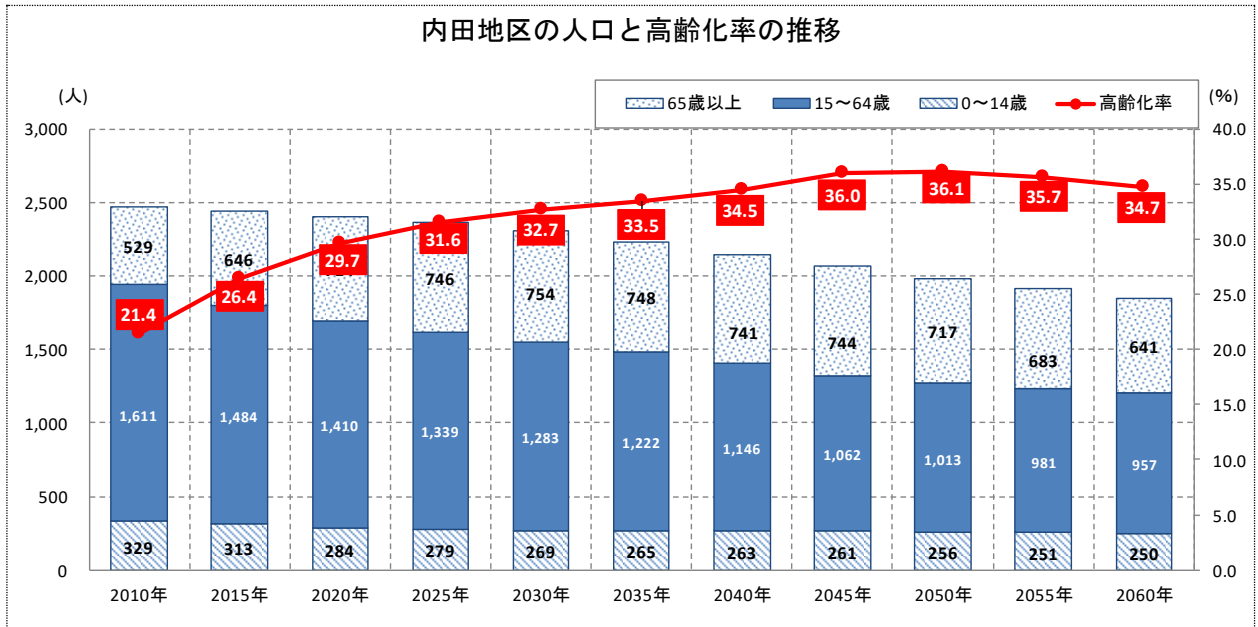
※国は令和4年4月1日現在、令和4年4月20日発表の人口推計(総務省統計)による



(7) 人口と高齢化率の推移

5年前まで松本市より低かった高齢化率は、2020年以降は逆転し、ピークとなる2050年には、松本市よりも約1ポイント高くなると推測されます。

平成27年(2015年)10月 松本市の将来人口推計
 ※地区の将来推計は、人口推計策定時の基礎データによる。



3 支援の必要な人

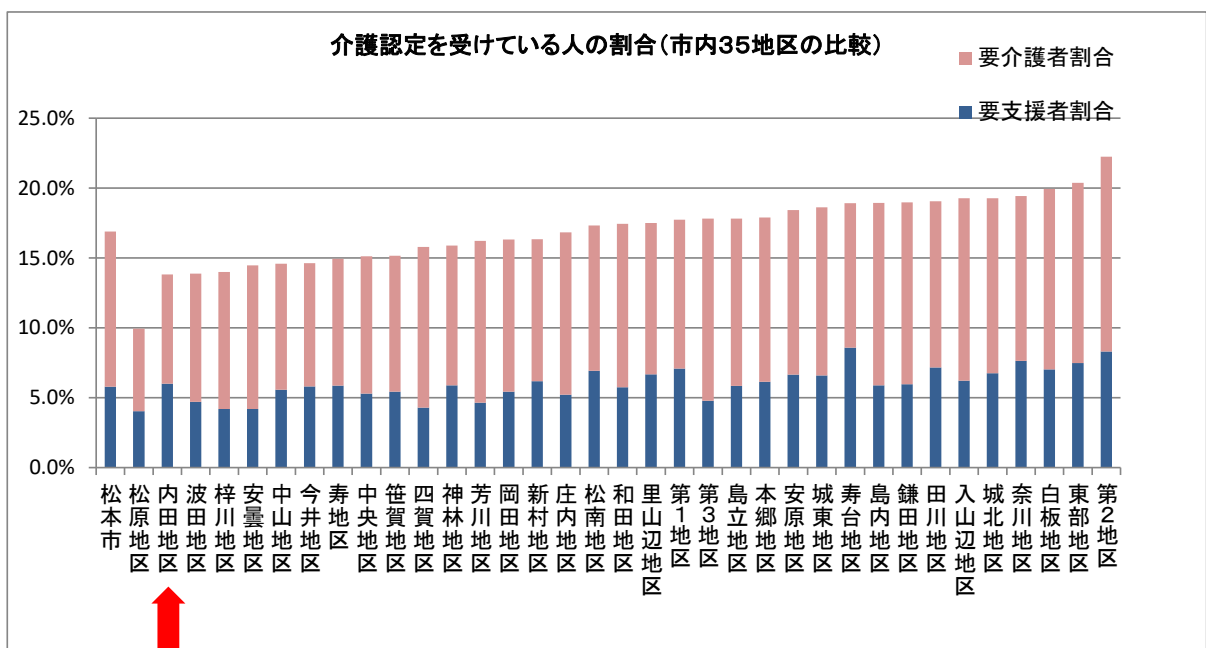
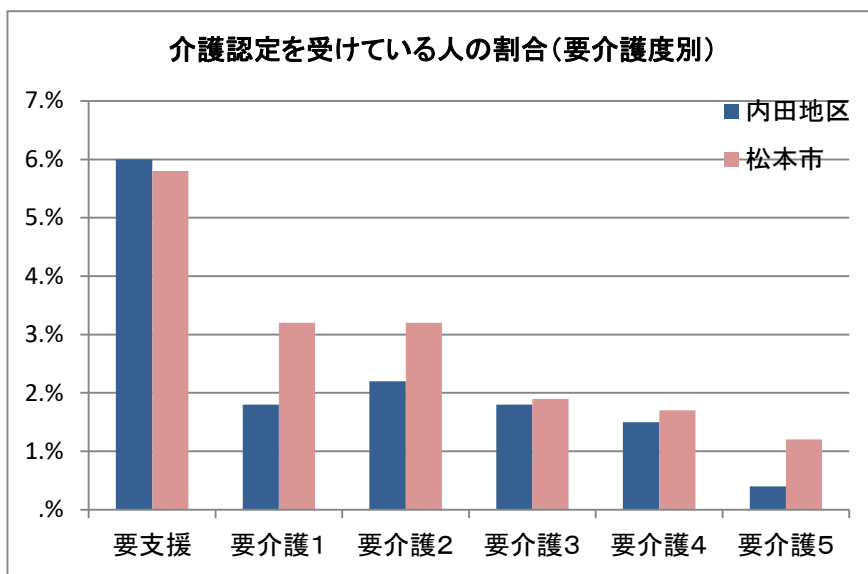
(1) 介護認定を受けている人の数と割合（高齢人口に対して）

介護認定を受けている人の割合は、市内で少ない方から2番目です。

※令和3年は少ない方から4番目でした。

令和4年4月1日現在
一人暮らし高齢者数は、令和4年1月1日現在

区分	高齢人口 (65歳以上)	要支援者数	要介護者数	(内訳)					一人暮らし 高齢者数	
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
内田地区	人数	716人	43人	56人	13人	16人	13人	11人	3人	73人
	割合	100.0%	6.0%	7.8%	1.8%	2.2%	1.8%	1.5%	0.4%	10.2%
松本市	人数	67,233人	3,887人	7,430人	2,137人	2,121人	1,246人	1,119人	807人	9,318人
	割合	100.0%	5.8%	11.1%	3.2%	3.2%	1.9%	1.7%	1.2%	13.9%



(2) 避難行動要支援者登録をしている人

登録をしている人の割合は、松本市全体よりも0.8ポイント少ない状況です。

令和4年4月1日現在

	人数	人口に対する割合
内田地区	108人	4.7%
松本市	12,435人	5.3%

(3) 障害者手帳を持っている人

松本市全体の割合よりも高い状況です。

令和4年4月1日現在

区分		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	合計
内田地区	人数	148人	55人	25人	228人
	割合	6.4%	2.4%	1.1%	9.9%
松本市	人数	10,393人	3,066人	3,143人	16,602人
	割合	4.4%	1.3%	1.3%	7.0%

※居住地特例者を含まない。

(4) 生活保護を受けている人

世帯数は松本市全体の割合よりも少ない状況ですが、人数ベースでは同等数値です。

令和4年4月1日現在

	世帯数	割合	人数	割合
内田地区	8世帯	0.8%	15人	0.7%
松本市	1,407世帯	1.3%	1,673人	0.7%

※居住地特例者を含まない。

(5) 外国籍の人

外国籍の人の割合は1パーセント以下で少ない状況です。

令和4年4月1日現在

	世帯数	割合	人数	割合
内田地区	6世帯	0.6%	23人	1.0%
松本市	1,733世帯	1.6%	3,837人	1.6%

4 内田地区の健康

(1) KDB(国保データベース)の結果

KDB とは、国民健康保険加入者(0歳から74歳)の健診・医療・介護等に関するデータを集約したものです。内田地区では、526人、全住民の22.7%の人が国民健康保険に加入しています。ここに掲載したデータは、令和3年度のものです。

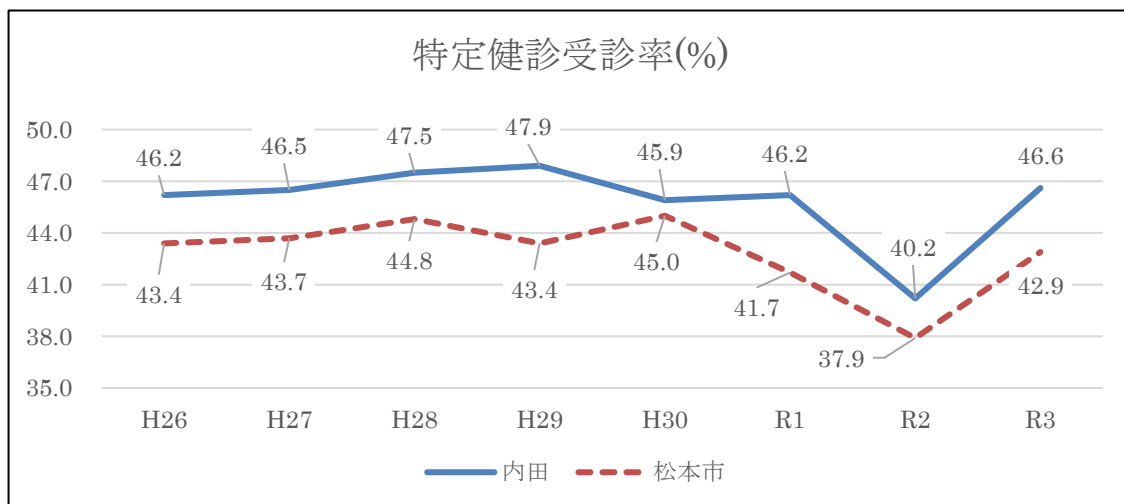
ア. 国保加入者 (国保加入者率・数は R3.11 月処理分)

	内田			松本市
	R1.10.1	R2.10.1	R3.10.1	R3.10.1
国保加入率	23.2%	23.3%	22.7%	19.8%
被保険者数	547 人	546 人	526 人	48,430 人
39 歳以下割合	21.0%	21.2%	17.5%	23.1%
40～64 歳割合	28.9%	26.9%	29.8%	31.9%
65～74 歳割合	50.1%	51.8%	52.7%	45.0%

国保特定健診対象者

イ. 特定健診・特定保健指導受診状況

(ア) 特定健診受診率



(イ) 性別・年代別受診率

(単位:%)

	内田						松本市	
	R1		R2		R3		R3	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～64 歳	25.7	47.5	25.0	36.8	30.9	46.0	25.9	35.6
65～74 歳	49.6	53.7	40.2	49.6	48.7	52.9	46.7	54.6

(ウ) 特定保健指導実施率

(単位:%)

	内田				松本市
	H30	R1	R2	R3	R3
特定保健指導終了者 (実施率)	62.1	68.8	56.0	56.7	43.3

(エ) 特定健診結果の状況 *網掛けは市データより大きく悪い数値を表します。

a メタボリックシンドローム該当者及び予備群割合 (単位:%)

	内田					松本市
	H30	R1	R2	R2	R3	R3
メタボ該当者	15.5	15.8	15.9	21.2	18.5	20.1
男	20.3	22.9	24.7	32.8	28.6	33.5
女	12.0	9.9	8.9	12.4	10.4	10.3
メタボ予備群	8.6	16.3	9.9	13.5	12.1	9.9
男	16.5	25.3	13.6	22.4	23.4	16.8
女	2.8	8.9	6.9	6.7	3.1	4.9

b メタボリック関連項目高値者割合 (単位:%)

	内田					松本市
	H29	H30	R1	R2	R3	R3
腹囲	28.3	34.2	29.7	39.7	34.1	32.7
BMI	5.9	5.4	6.0	3.8	7.5	5.4
血糖	1.1	1.6	1.1	0.6	1.2	0.6
血圧	5.9	8.7	5.5	9.0	7.5	6.5
脂質	1.6	6.0	3.3	3.8	3.5	2.8
非肥満 高血糖	12.3	12.0	11.5	9.6	10.4	8.8

c 質問票調査項目 (単位:%)

		内田					松本市
		H29	H30	R1	R2	R3	R3
内服	糖尿病	11.8	10.9	12.6	10.9	11.6	8.9
	高血圧	31.6	29.9	34.6	35.3	34.7	35.7
	脂質異常症	29.9	26.6	31.9	33.3	31.8	29.0
既往	脳卒中	5.6	2.2	2.8	2.6	2.9	3.3
	心臓病	8.3	8.2	3.9	4.6	6.4	5.0
	慢性腎臓病・ 腎不全	3.3	2.2	1.1	3.9	1.2	0.8
喫煙		12.3	16.3	15.9	17.9	18.5	11.4
20歳時から体重 10kg以上増		32.9	36.8	34.9	36.4	39.7	31.2

食事速度が速い	28.2	37.6	32.9	37.0	35.8	31.4		
週3回以上就寝前夕食	20.8	20.0	20.7	18.5	13.4	17.0		
毎日3食以外の間食・甘い飲み物	-	24.7	26.8	43.4	19.1	23.7		
生活習慣改善	意欲なし	37.5	28.2	29.6	17.0	20.9	28.4	
	組み 意 欲 あり あり 取り	未6 満 か 月	6.9	14.1	8.6	11.3	13.4	10.5
		以上 6 か 月	18.1	23.5	21.0	32.1	31.3	21.5

ウ. 医療費の状況

(ア) 1人あたりの年間医療費(全年齢国保加入者)
(単位:円)

	内田	松本市
1人あたり年間医療費	34,279	29,669

(イ) 外来医療費割合 (単位:%)

	内田	松本市
外来医療費	60.2	58.3
入院医療費	39.8	41.7

【地区の強み】

- ア 中年層(40 から 64 歳)の男性の特定健診受診率が上昇してきています。
- イ 生活習慣改善の意欲があり、取り組みをしている者の割合が増加しています。

【地区の課題】

- ア 特定健診受診率が、国が目指す 60%まで達していません。特に中年層の男性はまだ低い値です。
- イ 喫煙者割合が、市より高い状態が継続しており、増加傾向です。
- ウ メタボリックシンドローム予備群(特に男性)の者が徐々に増加しています。その背景には、早食いや、週3回以上就寝2時間以内の夕食摂取、毎日3食以外の間食・甘い飲み物摂取等、生活習慣が影響していると考えられます。糖尿病の内服歴のある者の多さや、半数は糖尿病性腎症とも言われている透析(腎不全)になる者の多さへつながっていることが予想されます。
- エ 全年齢国保加入者1人あたりの年間医療費が松本市全体より高いです。
- オ 2人に1人の割合で、10年以内に後期高齢者になる者がいます。

喫煙や食習慣等の生活習慣を見直し、健康寿命を伸ばしていくことが、将来の生活の質の向上へつながります。生活習慣改善の意欲があり、取り組みをしている人の割合が増加傾向のため、今後も地区全体で継続していくことが大切です。

また、個人の健康状況や地区の健康状況を把握し、早期治療・早期改善等へつなげるためにも、健診受診率を向上させる必要があります。

そのほか、高齢者の健康を維持、増進させていく取り組み等を考えていくことも重要

5 地区の主な行事

開催時期	行事名	主催	内容
7月	球技大会	実行委員会	町会対抗で軟式野球、ソフトバレー、ゲートボールを実施
8月	ササラまつり（盆行事）	実行委員会	ササラ踊りと夜店、ビンゴ大会
9月	地区大運動会	実行委員会	内田運動広場にて9町会が対抗
9月	敬老会	地区社協	隔年で式典及び会食会を開催
11月	文化祭・福祉ひろばまつり	実行委員会	作品展示とステージ発表

6 主な施設等（民間施設も含む）

ここでは、地区内にある公共施設、医療施設、介護施設、店舗（食料・生活用品店、特徴的な大型店等）、交通機関等の情報を記載します。

種別	施設の機能等	数	地区内施設名	地区外施設名
保育 ・ 教育 関係	保育園	1	内田保育園	
	児童館	1	内田児童館	
	小学校	0		明善小学校（寿豊丘）
	中学校	0		明善中学校（〃）
	特別支援学校	0		県松本ろう学校（〃）
	特別支援学校	0		県寿台養護学校（〃）
公的 機関	警察駐在所	0		村井・寿交番（寿中）
	市役所出張所・ 公民館・福祉ひ ろば	1	内田地区地域づくりセンタ ー、内田公民館・内田地区福 祉ひろば	
	消防署	0		芳川消防署（村井町）
	消防団	1	松本市消防団21分団	
	包括支援センタ ー	0		南東部地域包括支援セ ンター（寿中）
障害 者施 設・ 介護 施設 等	身体障がい者支 援施設	1	ささらの里	
	通所生活介護事 業所	1	こきりこささら	
	ケアホーム	2	みすぎの森、第2みすぎの森	
	介護老人保健施 設	0		ローズガーデン（中 山）
医療 機関	医院	1	百瀬医院（内科、外科）	
	歯科医院	1	横山歯科医院	
	総合病院	0		松本医療センター
	仏像	8	牛伏寺（十一面観音立像他）	

国重要文化財	建物	1	馬場家住宅	
	砂防施設	1	牛伏川本流水路（階段工）	
社会教育施設	博物館	1	重文馬場家住宅	
	社会体育施設	1	内田体育館	
	社会体育施設	1	内田運動広場	
金融機関等	郵便局	1	片丘郵便局	(寿豊丘だが第8町会)
	A T M 出張金融窓口	1	J A松本ハイランド内田地域 交流センター	
	金融窓口	0		J A中山寿支所(寿)
	金融窓口	0		八十二銀行寿支店
	金融窓口	0		松本信用金庫村井支店
商業施設	農産物直売所・ 飲食店舗	1	ファーマーズガーデンうちだ/ 日暈(ひがさ)/ソフトクリーム ショップV i b a b o o、そ ば処坂口茶屋	
	コンビニエンスストア	1	セブン-イレブン松本牛伏寺下 店	
	スーパーマーケット	0		デリシア寿店
	ガソリンスタンド	1	ヤマロク	
	店舗	1	丸山酒店、山崎商店	
	ホテル・旅館	4	ホテル山七、山上旅館、 薬師平茜宿、旅館群上閣	ブリーズベイリゾート 塩尻かたおか
	ゴルフ場	1	松本カントリークラブ	
農業関係	農事組合法人	1	内田営農	
公園施設等	公園	1	梨の木公園	
	公園	1	六道公園	
	公園	1	牛伏川いこいの広場	
	公園	1	牛伏川水遊びの広場	
	キャンプ場	1	内田少年の森キャンプ広場	
交通機関等	鉄道駅	0		J R村井駅、平田駅
	路線バス	1	内田線（明善学校、牛伏寺 口、馬場家住宅東、内田出張 所前、崖の湯口、倉村）	
	観光バス	1	平成交通(有)	

7 各種団体

(1) 町会、行政関係団体

ア 町会の組織（町会、常会・組等）

町会名	代表者名	常会名												常会、組数	
第1町会	常会長	東村	道上	道下	南村	中村	下向井								6
第2町会	常会長	牧ノ内	六道	上手村(上)	上手村(下)	中村(上)	中村(中)	中村(下)	下村						8
第3町会	年番	上	下												6
第4町会	常会長	上真田	下真田	横山	松山	ハヤック									5
第5町会	常会長	南花見	清水	寺村	北花見										4
第6町会	常会長	崖の湯	荒井	上宮の下	宮の下	倉村	アカシヤ								6
第7町会	組長	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	11組	13組		12
第8町会	常会長	1常会	2常会	3常会	4常会	5常会	6常会	7常会							7
第9町会	組長	1組	2組	3組	4組	5組	6組								6
計															60

イ 各町会の状況

第1町会 加入世帯数 63世帯(H26) → 61世帯(H30) → 57世帯(R4)

集落が内田地区の一番東(高地)に位置し田園の多い農村風景が見られます。寺院は法船寺と桃昌寺の2寺院、八幡原八幡社の1神社があり、古くからの住民が多い町会です。山麓線東の山林には廃棄物業者(有)ヤマシン貿易が営業し環境について住民の不安があります。また、山麓線にはごみの不法投棄が多く課題となっています。

第2町会 加入世帯数 83世帯(H26) → 81世帯(H30) → 82世帯(R4)

地区で一番広大な面積の町会です。西は片丘線の西から東は牛伏寺、牧の内集落、松本カントリークラブまでが町会の区域になります。内田地区唯一の医院とガソリンスタンドがこの町会にあります。区域が広大であるための防災体制として要所にはトランシーバーを設置しています。公民館が老朽化しており、災害対応として改築が課題となっています。

第3町会 加入世帯数 62世帯(H26) → 61世帯(H30) → 62世帯(R4)

国の重要文化財馬場家住宅があります。かつては寿と接していましたが、寿台地区、松原地区、第7、第8、第9町会が設置されました。昔からの農家を中心とした町会ですが、新しい公民館の建設に伴い町会の法人化をしました。住民の高齢化により町会内の様々な活動組織の維持や伝統行事の伝承が課題となっています。

第4町会 加入世帯数 44世帯(H26) → 42世帯(H30) → 43世帯(R4)

地区で一番小規模な町会になります。地区の西南部にあり寿小赤に接しています。古くから居住している住民が多く各集落で伝統行事が伝承されています。念仏講、おんべが行われ住民の交流が図られています。内田から寿に向かう県道が狭く、数回拡幅を試みましたが、断念されています。

第5町会 加入世帯数 80世帯(H26) → 78世帯(H30) → 81世帯(R4)

古くから居住している住民と新しく転入した住民が混在しています。かつて盆踊りが行われた常楽寺があり、北花見常会ではおんべが伝承されています。集落の団結がそれぞれ強くそれぞれの集落で昔からの伝承を守っています。

第6町会 加入世帯数 60世帯(H26) → 58世帯(H30) → 58世帯(R4)

昔からの常会に新しい住民の常会が加わり協力をしている町会で塩尻市と接しています。崖の湯まで広い範囲があり農地が広がりますが、山際には廃棄物処理業者が点在していることに住民の不安があります。荒井の集落ではおんべが伝承されています。

第7町会 加入世帯数 122世帯(H26) → 126世帯(H30) → 126世帯(R4)

平成3年に町会新設。地区で一番戸数の多い町会で、梨ノ木団地として他の地区から移住した人が主になっています。同世代が多くそのため急激な高齢化が不安材料ですが、町会独自の活動が盛んで子供も多く安定した町会運営がされています。アパートの住民も町会活動をしています。

第8町会 加入世帯数 57世帯(H26) → 54世帯(H30) → 55世帯(R4)

平成7年に第3町会から分離して、町会活動をはじめました。地区の北部で松原地区と接し、松本ろう学校の西側及び南側に面し、町内公民館を持ちませんが、町会内の喫茶店、片丘郵便局、内田公民館を使用するなどして町会活動を行っています。同じ時期に住みはじめた同じ世代の住民が多いため、高齢化が一挙に進むことが課題となっています。アパート住民も多く意思疎通も課題の一つです。

第9町会 加入世帯数 75世帯(H26) → 86世帯(H30) → 90世帯(R4)

平成7年新設の新しい町会で、地区内で一番早く法人化に取り組みました。明善中学校に隣接する場所で独自の町会活動も盛んです。団結が強く球技大会、運動会では常に優勝を争っています。アパート住民との意思疎通が課題であり、今後の急激な高齢化が予想されます。

ウ 内田町会連合会

構成：内田地区内の9つの町会

会長：構成単位町会長のうちから選出（任期：2年）

活動：地区を代表する組織として地区の意思決定、地区事業の運営、地区内団体の取りまとめを行っています。地区を代表する組織として地域づくり活動においては中心に活動をするようになります。会長、副会長、会計の三役及び地区内の担当が2年ごとに交代するため継続性の問題が指摘されます。

エ 内田地区防災部

構成：各町会自主防災会長（町会長）、防災部長、避難所運営委員

会長：町会長のうちから選出（任期：2年、各団体の任期）

活動：防災組織の運営と防災訓練を実施しています。町会連合会で自主防災基金を設置し積立を行い、防災備品の整備をしています。現在は町会連合会の防災部という位置づけになっています。平成30年に避難所運営委員会を立ち上げ、備蓄品の充実とともに避難所の開設・運営訓練にも取り組んでいます。

オ 内田地区社会福祉協議会

構成：民生・児童委員協議会及び地区内の各種団体の長等

会長：町会連合会副会長（任期：2年、各団体の任期）

活動：地区の社会福祉に関する事業を実施しています。松本市社会福祉協議会の地域分会で社会福祉関係団体助成、敬老会の開催など敬老行事、ふれあい会食会等を開催しています。事業のマンネリ化が指摘され、住民独自の福祉活動が求められています。

カ 内田地区防犯協会

構成：内田地区各種団体の長等

会長：町会長のうちから選出（任期：2年、各団体の任期）

活動：地区の防犯活動（防犯意識の啓発や夜間パトロール、地区行事の防犯対策）を実施しています。各町会選出の防犯女性部は独自にユニフォームを揃えて子ども見守り運動等を行っています。

キ 内田地区衛生協議会

構成：各町会衛生部長

会長：各部長のうちから選出（任期：2年）

活動：地区の衛生関係事業を担当。各町会ごみステーションの管理、害虫防除、町内清掃を住民が主体的に運営しています。

ク 内田地区健康づくり推進員会

構成：各町会から選出の健康づくり推進員

会長：推進員のうちから選出（任期：2年）

活動：市健康づくり課と連携し住民の健康に関する事業を実施しています。福祉ひろばのふれあい健康教室、社会福祉協議会の一人暮らし高齢者配食事業のほか地区事業に参加しています。

ケ 内田地区民生・児童委員協議会

構成：民生・児童委員、主任児童委員

会長：委員のうちから選出（任期：3年）

活動：民生・児童委員本来の相談、市との連絡業務のほか、地区の福祉事業を実施しています。地区社会福祉協議会、地区福祉ひろば事業推進協議会の中心メンバーとなって活動しています。

コ 内田地区公害対策委員会

構成：内田地区の環境に係る各種団体の長

会長：内田地区町会連合会長（任期：2年、各団体の任期）

活動：地区の公害、環境問題について対策を検討しています。産業廃棄物処理場計画の対応、業者との窓口になります。最近では産業廃棄物業者への対応や不法投棄問題について協議しました。

サ 内田地区農振推進協議会

構成：地区農業関係団体の長等

会長：農業団体役員から選出（任期：2年）

活動：市農政課と委託契約を結び、農用地利用計画に対する地区内意見の取りまとめや農業政策に対する意見集約を行っています。

シ 松本交通安全協会内田支部

構成：町会選出理事、評議員

会長：理事のうちから輪番で選出（任期：2年）

活動：松本安全協会の地域組織として地区内の交通安全施設の管理、交通安全運動の実施、事業開催時の交通安全対策を実施しています。松本警察署に事務局があり、活動は町会からは独立していますが、町会からの補助金が財源の一部になっています。

ス 内田地区地域づくり協議会

構成：内田地区各種団体の長等

会長：内田地区町会連合会長（任期：2年、各団体の任期）

活動：地区の伝統を守り、独自の文化創造と育成に取り組み、共に支え合う安心で安全な地域づくりを推進するため、年3回ほど会議を開催して調査研究や事業の企画実施、地区内各団体の連絡調整を行っています。

(2) 公民館、福祉ひろば関係団体

ア 内田公民館運営委員会

構成：内田地区各種団体の長等

会長：町内公民館長会長（任期：2年、各団体の任期）

活動：内田公民館事業の実施運営を行なっています。地区の3大事業であるササラまつり、大運動会、文化祭の中心となって活動しています。なお、内田公民館には館報編集委員会、図書視聴覚委員会、体育委員会（体育協会）、文化委員会（町内公民館主事会）の各委員会が各町会選出の委員で組織され活動しています。

イ 内田地区町内公民館長会

構成：町内公民館長

会長：町内公民館長のうちから選出（任期：2年）

活動内容：内田公民館運営委員会の中心となり内田公民館と連携して活動しています。地区では町会連合会と協力して各種地区事業を運営しています。

ウ 内田地区町内公民館主事会

構成：町内公民館主事

会長：町内公民館主事から選出（任期：2年）

活動内容：町内公民館長を補佐し、内田公民館活動を運営しています。

エ 内田地区体育協会

構成：町会選出理事、評議員

会長：理事から選出（任期：2年）

活動：公民館との共催で各種スポーツ大会、事業の企画運営を実施しています。

特に運動会では事業開催の中心として要となっています。また、ニューススポーツの地区住民への紹介など楽しむスポーツの普及にも取り組んでいます。なお、理事の一部は内田公民館体育委員を兼ねています。

オ 内田地区福祉ひろば事業推進協議会

構成：内田地区各種団体の長等

会長：副連合会長（任期：2年）

活動：市地域づくり課から福祉ひろば事業の運営を委託され、企画部会を組織して毎月のふれあい健康教室などひろば事業の企画運営を実施しています。

(3) その他の団体

ア 内田ササラ踊り保存会

構成：内田地区各種団体長等

会長：町会連合会長（任期：2年、各団体の任期）

活動：松本市重要無形民俗文化財ササラ踊りの保存活動をしています。公民館と連携しササラ踊りの学習会、事業開催時の実演をし、ササラ踊りの伝承に取り組んでいます。

イ 内田地区ボランティア会

構成：地区内有志

会長：会員から選出（任期：2年）

活動：内田地区社会福祉協議会活動の手伝いをするを目的に結成されました。敬老会等の社会福祉協議会事業、福祉ひろば事業等に参加しています。また、地区事業の運営にも参加をしています。

ウ 内田地区有害鳥獣侵入防止柵管理委員会

構成：地区農業関係団体長等

会長：農業団体役員から選出（任期：2年）

活動：平成22年に地区住民の労働力の提供により設置された有害鳥獣侵入防止柵の管理と有害鳥獣の食害対策を検討、実施しています。

エ 内田児童館運営委員会

構成：内田地区、松原地区福祉関係団体の長等

会長：内田・松原地区町会連合会長（任期：2年、輪番制）

活動：内田児童館の運営に関する諮問機関となります。

オ 内田財産管理委員会

構成：旧北内田区員

委員長：会員から選出（任期：2年）

活動：旧片丘村北内田区が昭和35年松本市へ編入されたときに区有財産（特に山林）を管理する任意団体として設置されました。旧内田公民館が財産管理委員会の所有となっています。また、塩尻市南内田区と共有財産の管理を行う関係から南内田区との交流を行っています。

カ 日赤奉仕団内田分団（休会中）

構成：地区内有志

会長：団員から選出（任期：2年）

活動：主要な構成員だった内田婦人会が解散し存続が危ぶまれましたが、当時の町会連合会役員が加わり一旦は継続しました。その後、役員の高齢化等で活動が困難となったため、平成30年度から休会しています。

このほかにも水利組合、農事関係団体、学校関係団体がそれぞれ活動しています。各団体の長等が地区行事（盆行事、運動会、文化祭）の実行委員となり、事業の企画運営を実施しています。

8 通いの場

（1）福祉ひろば

ア 福祉ひろば事業（令和4年度）

事業名	実施時期	参加人数	内容
ふれあい健康教室	毎月第3水曜日	27	4月 ボッチャで楽しもう
		32	5月 読み聞かせ
		25	6月 内田かるた
		31	7月 フレイル検診
		25	8月 フレイル予防講座
		35	9月 防災訓練
		29	10月 スカットボール
		24	11月 ニュースポーツ（ボッチャ）
		38	12月 ハンドベルコンサート
		40	1月 新年会「つむぎちゃん劇団」
		35	2月 認知症講座
		53	3月 ふれあい福祉まつり
	計	394	
ひろばだより発行	毎月1回	—	各月のお知らせ・事業の周知
福祉交流のつどい	毎月第2月曜日	305	勉強会・交流会・作品作り・体操
ひろば喫茶 “よってけや”	毎月第2金曜日	195	お菓子と飲み物
親子ひろば	毎月第4金曜日	156	相談会、人形劇、交通安全、読み聞かせ

ひろばレクリエーション	6月・10月	29	牛伏川ウォーキング、松本市美術館
出張ふれあい健康教室	各町会年1回以上	69	6月/第1・6町会、7月/第5町会、10月/第4町会、11月/第8町会 ※その他の町会は中止
ひろばまつり	11月6日	235	公民館と合同開催
ふれあい福祉まつり	3月ふれ健	53	お楽しみ会（ひろば劇団とビンゴ大会）
サークル代表者会	5・12月	23	大掃除・ひろばまつり参加
子育て支援交流会	9月	中止	おはぎ作り
中学校総合学習支援	7月・9月	中止	交流会・奉仕活動・ひろば喫茶
ウォーキングイベント	10月・3月	104	親子ウォーキング、ナイトウォーキング、地区めぐり
高齢者交通安全教室	11月	25	交通安全指導と寸劇
視察研修	7月	中止	
ササラまつり	8月	中止	ササラ踊り・夜店・ビンゴ
子ども防災教室	7月	23	段ボールベット体験・防災講座
事業名	実施時期	参加人数	内容
おつまみ講座	8月・2月	中止	
スマイル山雅健康教室	7月	16	サッカーチーム松本山雅による体操
エルダーたいむ	毎月2回	579	エルダーシステムを使った体操・脳トレ
おにぎりウォーキング	月1回（4月～11月）	40	毎月2～3kmのコースを歩く

イ 福祉ひろばサークル一覧

	サークル名	活動内容	人数	活動時間
1	メロディーベルの会	ハンドベル	6	1・3金曜日 13:30
2	ふるさとの会	童謡・唱歌	12	1・3月曜日 19:45
3	こすもすの会	カラオケ	7	2・4水曜日 9:30

(2) 地区公民館

ア 地区公民館事業（令和4年度）

月	日 (曜日)	事業名	内容	参加人数
5月	8日 (日)	内田スポーツDay	ニュースポーツ体験	18

	24日 (火)	バス視察研修（自然観察）	自然観察会（天龍峡）	18
6月	13日 (月)	街めぐりウォーキング	市街地散策とウォーキング（松本市まちなか景観賞めぐり）	13
	22日 (水)	内田親睦ゴルフコンペ	親睦ゴルフ大会（松本カントリークラブ）	27
	24日 (金)	ホテル学習観察会	ホテルの生態学習と観察	45
7月	10日 (日)	内田地区球技大会	内田地区の球技大会（軟式野球、ソフトバレーボール、ゲートボール）	26
	29日 (金)	子ども防災教室	防災学習、避難時のメンタルケア、段ボールベッドの組立体験	23
8月	1日 (月)	地域のタカラ（事前学習）	筑摩神社、窪田空穂、牛伏川階段工について図書館で学習	5
	3日 (水)	地域のタカラ（現地調査）	現地見学、地元ガイドの解説から学習	4
		ササラまつり	中止	
	19日 (金)	水生昆虫観察会	水生昆虫の採集と観察	24
		東南ブロック球技大会（内田・松原・寿・中山・芳川・寿台）	中止	
		会議室開放	夏休み期間に公民館の会議室を自習室として19日間小中学生に開放	25
9月		第59回内田地区大運動会	中止	
	30日 (金)	ササラ踊り学習会	明善小学校3年生にササラ踊りを指導	68
	30日 (金)	内田ナイトウォーキング	地区の夜景を見るウォーキング	10
10月	7日 (金)	大人の音読講座	詩の音読、ことばあそび、うたあそびを講師と参加者で実施	13
	10日 (月)	第65回松本市市民スポーツ大会	地区対抗によるスポーツ大会（ゲートボール、軟式野球、ソフトバレーボール、マレットゴルフに参加）	45

	28日 (金)	夜の馬場家探検&内田ナイトウォーキング	夜のウォーキングと馬場家住宅で昔の暮らしを体験	15
	30日 (日)	第38回松本市長杯争奪球技大会	地区対抗による球技大会 (ゲートボールに参加)	8
11月	7日 (日)	第45回内田地区文化祭 第24回内田地区福祉ひろばまつり	作品展示、ステージ発表、ササラ踊り、くじびき 等	245
	21日 (月)	バス視察研修	文化芸術講座 (安曇野ちひろ美術館、白馬三枝美術館)	13
	25日 (金)	音の花束コンサート	明善中学校の体育館にプロの演奏者を招いてのコンサート	300
12月	3日 (土)	しめ縄・ふかし饅頭づくり	正月のしめ縄と伝統食のふかし饅頭づくり	17
	13日 (火)	スマホ個別相談会	LINEの使い方の個別相談会	4
1月	11日 (水)	絵本で学ぶSDGs (人権啓発講座)	絵本を用いてSDGsを学ぶ	22
	29日 (日)	ニューススポーツ体験会	ワンバウンドふらばーるバレー、ビーンボーリング、ボッチャ、皿回し	20
2月	27日 (月)	人権啓発視察研修	富岡製糸場へのバス視察	20
3月	4日 (土)	内田地区ウォーキング	内田地区内を巡るウォーキング	29
	28日 (火)	ササラ踊り演奏学習講座	ササラ踊りの演奏に関する学習講座	6
12月～3月 (計4回)		健康づくり講座「PPKスクール」	介護予防を目的とした健康づくり講座 (健康ミニ講座、有酸素運動 等)	62

イ 公民館利用団体

	団体名	利用目的・活動内容	申請書提出
1	劇団 音光舞 (ねこまい)	演劇	内田公民館
2	セダック ジュニア	会議	同上
3	内田陶芸クラブ	陶芸	同上
4	プアリリア	フラダンス	同上
5	すずしろの会	料理	同上
6	内田ささらっこクラブ	子育てサークル	同上
7	マージャンクラブ	健康マージャン	同上
8	健康づくりクラブ	ヨガ	同上

9	ロマンハーブ	大正琴	同上
10	手芸クラブ「華」	手芸	同上
11	GROOVY	キッズダンス	同上
12	手話教室	手話コーラス	同上
13	FC ASA FUTURO	会議	同上
14	明善サッカースポーツ少年団	会議	同上
15	松本NANBUミニバスケットボールOB会	勉強会	同上
16	長野県地理学会中信支部	会議	同上
17	ANELA	ベビーマッサージ	同上
18	タンタンサークル	育児サークル	庄内地区公民館
19	日本舞踊を楽しむ会	日本舞踊	寿台公民館
20	中山太鼓連	太鼓	中山公民館

ウ コミュニティスクール事業

1	明善中学校生徒ボランティア	中学生による内田地区文化祭運営への協力
2	明善中学校音の花束コンサート (内田・寿台・松原地区公民館)	中学生の地域支援に対する返礼コンサート ジャズサックスの演奏
3	明善小学校川遊び遠足	水辺での見守り支援
4	明善小学校ササラ踊り学習	3年生に行われるササラ踊り学習の支援
5	明善小学校美ヶ原登山	登山の随行支援

(3) 町会サロン（令和4年度）

町会	実施回数	実施内容
第1町会	7回	介護について専門家の話を聞いたり、脳トレや体操、ぬり絵、型抜きアートなどで癒しの時間を過ごすなど心のケアも行う。
第2町会	8回	茶話会、健康体操、カードゲーム、地域ボランティア
第3町会	7回	茶話会、カラオケなど
第4町会	9回	ご近所や高齢者が気軽に集まり、手先を動かしたりお茶を飲みながらいろいろなことを話す寄り合いの場を提供。刺子づくりを主に行っている。
第5町会	10回	腸活ヨガ（ブレインヨガ）やゲーム（ダーツ、スカットボール）その後はお茶を飲み会話を楽しむ。
第6町会	7回	物作り（さるぼぼ等）、体操、お茶会をしながら楽しく過ごせる居場所作りを継続
第7町会	7回	ゲーム、茶話会、足ケア体操
第9町会	9回	近所の介護者が集まり、お茶を飲みながら気軽に話せる場所づくりを継続中

